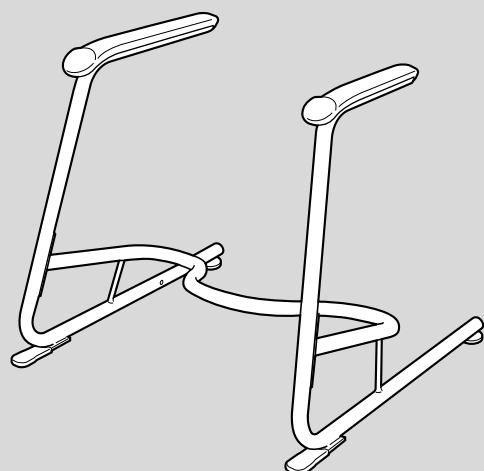


安寿 あんじゅ

大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。



SUS-R / SS-K

トイレ用立ち上がり補助フレーム SUS-R SS-K 取扱説明書

保証書付

最大使用者体重：100kg以下

このたびはトイレ用立ち上がり補助フレームSUS-R/SS-Kをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
なお、この取扱説明書(保証書)は大切に保管してください。

●保証書は「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえ	2
特長	3
組み立てかた	3
取り付け方法	4
床固定方法	4~5
お手入れの方法	5
保証とアフターサービス	6
保証書	7

安全上のご注意 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）



必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。



してはいけない「禁止」内容を説明しています。



警告



改造や分解をしないこと
けがや破損の原因になります。



肘掛けの上に乗ったりぶら下がらないこと
転落や転倒し、けがの原因になります。



注意



ボルトがゆるんでないか、定期的に点検すること
ゆるみがある場合には、使用を中止し、ボルトをゆるみがないよう増締めすること
ゆるんだまま使用すると、不安定になり転倒し、けがの原因になります。

使用者が用便などの際、自分自身の身体を十分に安定させられない場合は、介助者が必ず付き添うこと、また必要に応じて床固定すること

各部の調節については販売店やケアマネジャーなど専門家に相談すること

直射日光を避けて、室内でのみ使用すること
塗装が変色したり錆の原因になります。

必ず平坦な場所で使うこと
強い勾配や段差のあるところで使用すると、傾いたり転倒の原因になります。床に緩い勾配がある場合は、がたつきをアジャスターで調節してください。

ひざ・足腰が弱っている方で、特に両うでで体を押し上げて立てない方が使用する場合は、必ず床固定して使用すること

床がタイル等、すべりやすい場合は、必ず床固定金具で床に固定すること
固定しないと、すべったり不安定になり、けがの原因になります。



体重が100kgを超える方は使用しないこと
製品が破損し、けがの原因になります。

立ち座りのとき片側の肘掛けにのみ全体重をかけないこと
製品が破損し、けがの原因になります。

直接水をかけて洗わないこと
中性洗剤をうすめてスポンジかやわらかい布に含ませ汚れをとったあと、乾いた布で乾拭きしてください。
塗装が変色したり錆の原因になります。

子供・幼児を遊ばせる等、他の用途では使用しないこと

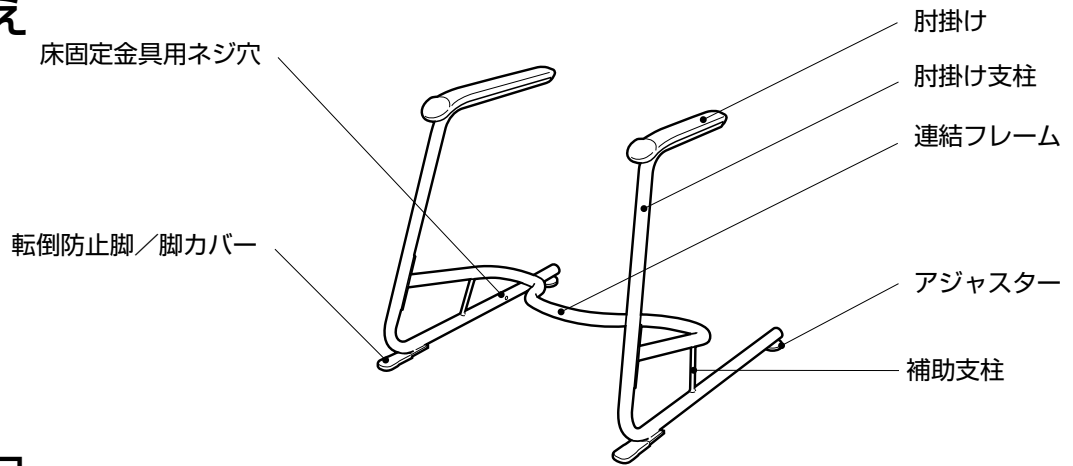
落としたり強い衝撃を与えないこと
本体が破損し、けがの原因になります。

洋式トイレおよびサニタリース据置式以外で使用しないこと
転倒したりけがの原因になります。

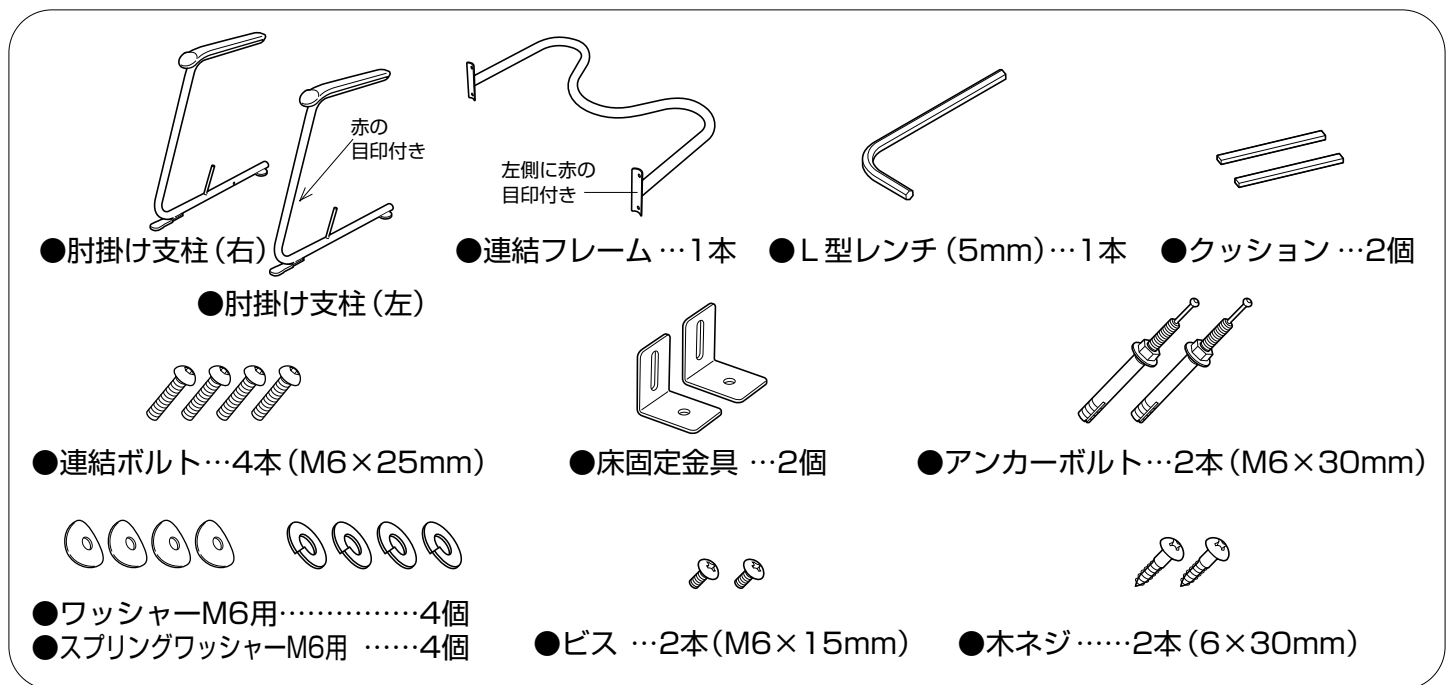
熱器具の近くや湿気の多い場所には設置しないこと
塗装の変色やひび割れの原因になります。

各部のなまえ

■各部のなまえ



■部品・付属品 組み立てる前に部品をご確認ください。



■仕様

	部品名	材質	
		SUS-R	SS-K
構成部材	肘掛け支柱・連結フレーム・補助支柱・転倒防止脚	ステンレスSUS304/ エポキシ系粉体塗装(アイボリー)	スチール/ エポキシ系粉体塗装(ホワイト)
	肘掛け	ポリプロピレン	
	脚カバー	合成ゴム	
	アジャスター	ステンレスSUS304・合成ゴム	
	連結ボルト・アンカーボルト・木ネジ・ビス スプリングワッシャー	ステンレスSUS304	
	床固定金具・ワッシャー	ステンレスSUS304/ エポキシ系粉体塗装	
サイズ	幅69×奥行65×高さ62cm		
重量		約5.0kg	約6.0kg

特長

- コンパクト設計で、トイレ室内の雰囲気を引き立てるスマートなデザイン。
- 高齢者を中心に使いやすい高さに設計されています。
- 肘掛け先端は、手首を自然に曲げることが出来る角度で、しっかり握れて手首を痛めず立ち上がることができます。
- サニタリース据置式・(OD・HG)にも設置することができます。
- 下肢の不安定な方や半身まひにより片側の肘掛けにもたれながら立ち上がる方には、より安心な床固定金具が取り付けできます。
- 床がタイル等ですべりやすい場合にも、床固定すると安心です。

組み立てかた

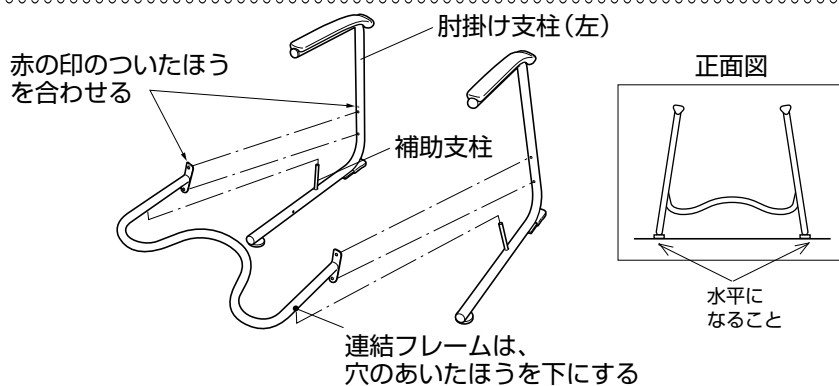
(お願い)

※トイレの入り口の幅が65cm以下およびトイレの室内幅が93cm以下の場合は、トイレ室内で組み立ててください。組み立ててからでは、搬入できない場合や、室内で向きを変えられない場合があります。

1 フレームを組み立てる

肘掛け支柱の補助支柱を連結フレームの下側の穴に差し込みます。

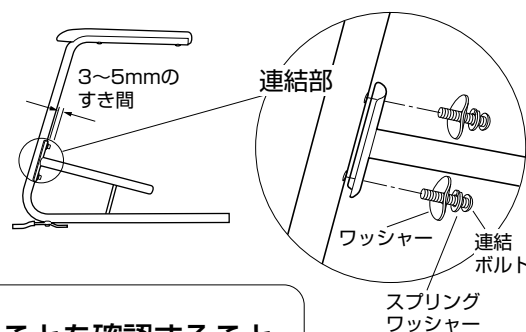
※左用は、連結部(肘掛け支柱・連結フレーム)の赤い目印を合わせてください。



2 連結ボルトで固定する

肘掛け支柱と連結フレームの4箇所の接続部に、ワッシャー・スプリングワッシャー・連結ボルトを差込み、付属のL型レンチで締め付けます。

※仮組みした状態で、連結部は、3~5mmのすき間があります。連結ボルトを締め付けると、すき間が閉じます。



注意

肘掛け、連結部、アジャスターなどに緩みやガタツキが無いことを確認すること
各部に緩みやガタツキがあると、破損や転倒、けがの原因になります。



注意

肘掛け支柱は、左右異なります。左用には赤の目印が付いているので、向きに注意して組み立てること
左右を間違えて組み立てると、不安定になり、転倒の原因になります。

取り付け方法 (洋式トイレ・サニタリエース共通)

1 トイレの前方から据え付ける

2 安定した位置に設置する

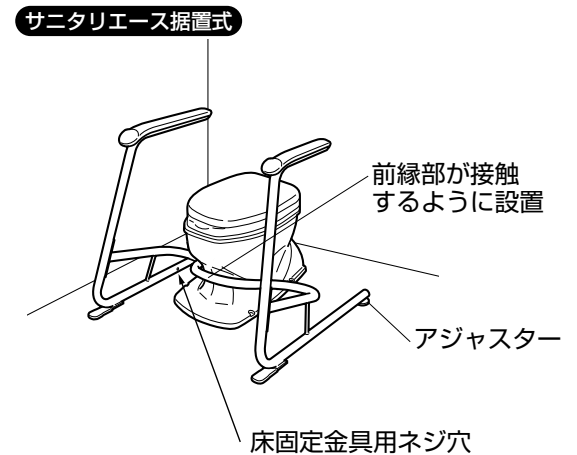
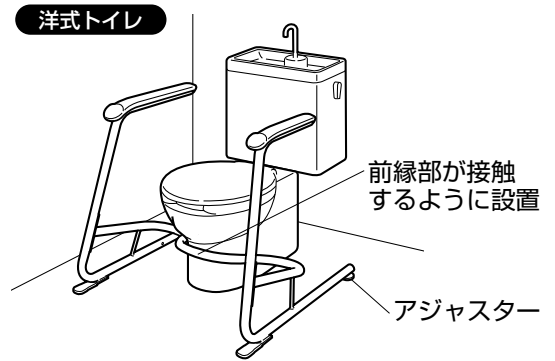
連結フレームを、洋式トイレの前縁部に接触するように設置します。

3 アジャスターの調整をする

床面に勾配があったり、凹凸があり、ガタツク場合は、アジャスターで安定するように調節してください。

4 連結フレームの洋式トイレと接触する位置にクッションを貼り付ける

5 床固定しない場合は、ビスを肘掛け支柱の床固定金具用ネジ穴に取り付ける。



完全に床に固定したい場合は、以下の要領で施工してください。

床固定方法 (洋式トイレ・サニタリエース共通)

1 施工される業者の方へ

施工される前に、この取扱説明書をよく読んでから施工に取りかかってください。

2 必要な工具

- ・電気ドリル (床がコンクリートの場合はハンマードリル)
- ・プラスドライバー (+3ビット)
- ・コンクリート用ドリル ($\phi 6.5\text{mm}$)
- ・木工用ドリル ($\phi 3.0\text{mm}$) ・スパナ (二面幅10mm)

① 床固定金具を取り付ける

添付の床固定金具を、肘掛け支柱の床固定金具用ネジ穴にビスで取り付けます。

② 取り付け位置を決める

取り付け位置を決め、床に床固定金具の穴位置の印を付けます。

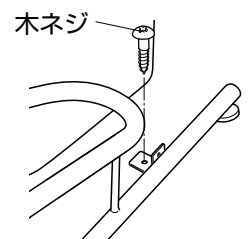
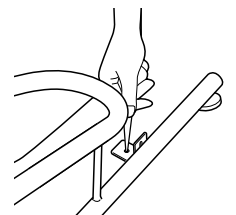
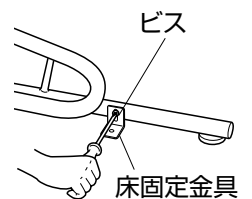
(床が木の場合)

① 床に下穴をあける

木工用ドリルで $\phi 3.0\text{mm}$ 、深さ15~20mmの下穴をあけます。

② 木ネジで固定する

床固定金具が床面に接触するように固定します。



(床がコンクリートあるいはタイル貼りの場合)

コンクリート用ドリル

①床に穴をあける

コンクリート用ドリルでφ6.5mm、深さ35mmの穴をあけます。

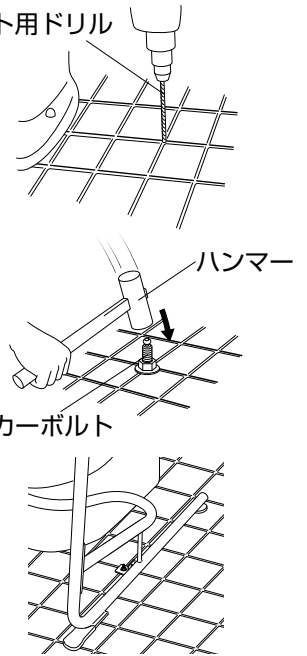
※床がタイルの場合、タイルが破損する恐れがあるので必ずタイルの目地の部分に穴をあけるようにしてください。

②アンカーボルトの設置

床の穴にアンカーボルトの埋設部分(端面が4つに割れている)を差し込み、アンカーボルトの頂点に突出しているピンをハンマーで叩き込み、アンカーボルトを固定します。

③ナットで固定する

アンカーボルトに床固定金具の穴を差し込み、床固定金具が床面に接触するようにナットを締め付けて固定します。床固定金具は必ず2箇所全て固定してください。



下穴が防水層に到達した場合は、コーキング材で防水してからアンカーボルトを固定すること

お手入れの方法

普段のお手入れは

いつまでも気持ちよくお使いいただくために、小マメに汚れを落としてください。

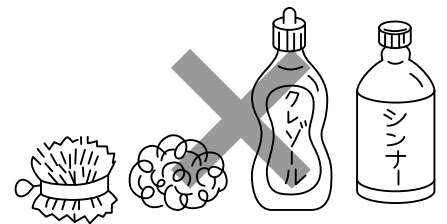
中性洗剤をうすめてスポンジかやわらかい布に含ませ汚れを取ったあと、乾いた布で乾拭きしてください。



次にあげるものではお手入れしないこと

- ・塩素系洗剤
- ・酸、アルカリ性洗剤
- ・シンナー
- ・クレゾール
- ・その他製品を傷付けるもの
- ・タワシ
- ・研磨剤入りのスポンジ
- ・磨き粉
- ・塩素系薬剤をかけたの殺菌、消毒

製品が劣化し、けがの原因になります。



保証とアフターサービス **よくお読みください**

■保証書

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

保証期間：お買い上げ日から1年間

■修理を依頼されるとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。お買い上げの販売店にご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。